



# すぎのこつうしん

平成27年度 10月号 古川陣町カトリック保育園

「自然を大切に作る心が育つ」

先日の運動会は雨降りの中をたくさんの皆様においでいただき大盛況のうちに終える事が出来ました。保育園とは違う体育館の広い場所で子ども達は練習の時とは違い伸々と思う存分体を動かしていました。保育園生活で最後の運動会となる5才児ひつじ組の子たちは力いっぱい走り「本気出した」と息をきらしながら、満足そうに話していました。子ども達も職員も一緒に泣いたり笑ったり充実した時間を過ごすことが出来ました。保護者の皆様の温かい声援や笑顔をいただき本当にありがとうございました。梅雨のように長く続いた雨もようやく止み、秋空が広がるようになりようやく平年並に戻ったようです。10月は「自然を大切に作る心が育つ」を目標としています。秋は四季のある日本ならではの行事が目白押しです。「りんご狩り」「芋煮会」と高空の下で自然を満喫する絶好のチャンス到来です。真っ赤ないんごがたわわに実る様子は思わず笑顔になる光景です。古代の里での芋煮会はひつじ組の子ども達が調理の手伝いをしたり、山栗を拾ったり虫を見つけたら、大喜びです。自然の風の心地良さや自然が育んでくれた実りに感謝する心を、子ども達に知ってほしいと切に望んでいます。それには、やはり大人の私たちが自然の素晴らしいことや大切さを折にふれて知らせることが必要です。大人も五感を研ぎ澄まし、感性豊かになりましょう。きれいな景色を見たら「きれい」だと表現できる素直な心を持ちましょう。

<園長 平野 義子>



## ♪今月のうた♪



「おめくみってなんでしょう」

- |   |  |  |
|---|--|--|
| 1. おめくみってなんでしょう<br>アイスさまからいただいた<br>みんなのじょうぶなそのからだ<br>どうよ それがおめくみよ | 2. おめくみってなんでしょう<br>マリアさまにまもられた<br>みんなのきれいなそのころ<br>どうよ それがおめくみよ | 3. おめくみってなんでしょう<br>しゅごのてんしとごいっしょに<br>あそぶたのしみいっぱい<br>どうよ それがおめくみよ |
|---|--|--|

「山の音楽家」

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 1. わたしゃおんがくか やまのこいす<br>じょうずにバイオリンひいてみしょう<br>キュキュキュッキュッキュ キュキュキュッキュッキュ<br>キュキュキュッキュッキュ キュキュキュッキュッキュ<br>いかがです | 2. わたしゃおんがくか やまのこいす<br>じょうずにフルートふいてみしょう<br>ピピピッピッピッ ピピピッピッピッ<br>ピピピッピッピッ ピピピッピッピッ<br>いかがです | 3. わたしゃおんがくか やまのためき<br>じょうずにたいこをたたいてみしょう<br>ポコボンボン ポコボンボン<br>ポコボンボン ポコボンボン<br>いかがです |
|---|--|---|



◆おとうさん・おかあさんから

もう少しでカトリック保育園ともお別れと思うとすごく寂しい気持ちになります。振り返ってみると本当にたくさんの思い出があります。たくさんの先生方にお世話にならないながら少しずつ成長していく娘を見るたび母としてとても誇らしく思い保育園での生活が娘にとって、とても充実した日々なだと感じさせられます。9月26日(土)に行われた娘にとって最後の運動会は涙をこらえるのに必死でした。先生方の努力ややさしさや思いやりがとても伝わってとても楽しく元気にいろいろなことに取り組む娘の姿を見ていたら胸が熱くなります。感動させられました。同じクラスのお友達もとてもやさしく素敵なお友達と出会えたことは娘にとって幸せだったんだと思います。カトリック保育園で学んだたくさんのことを力にこれからも成長してくれればと思います。

<ひつじ組 ○○ ○○ちゃんのお母さん>

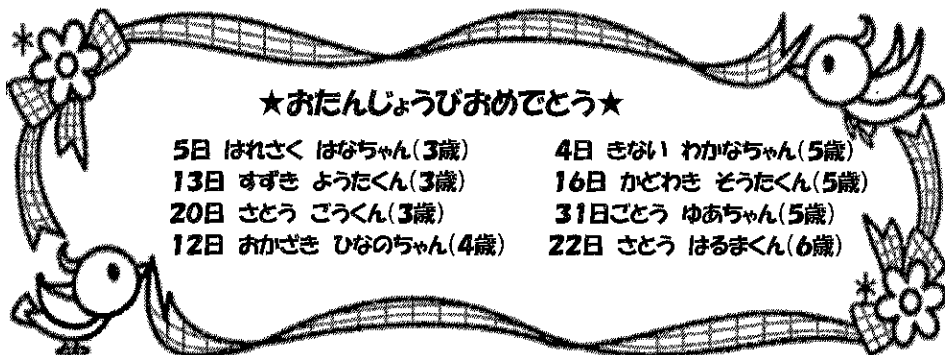
月日が過ぎるのは早いもので○○が9月10日で6歳になりました。保育園に行くのが嫌でぐずぐず泣いていたのに…私に甘えていたのに…今では私に○○に甘える始末!! 心が強くなりました。これも園長先生、先生方の熱いご指導あっての事だと思っております。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。先生方にはこれからもご迷惑をかけると思いますが、どうか宜しくお願い致します。

<ひつじ組 ○○ ○○くんのお母さん>



## 行事予定

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1日(木)開園記念の集い             | 21日(水)サッカー教室(4・5歳児) |
| 6日(火)歯科検診                | 23日(金)誕生会           |
| 7日(水)内科検診                | 27日(火)縦割り保育(2歳児～)   |
| 15日(木)川崎カトリック保育園交流会(5歳児) |                     |
| 16日(金)芋煮会                | 28日(水)交通安全教室        |
| 20日(火)いんご狩り              | ?日 避難訓練             |



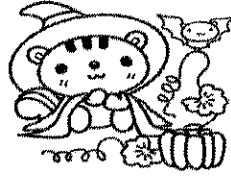
## ★おたんじょうびおめでとう★

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 5日 はれさく はなちゃん(3歳)   | 4日 きない わかなちゃん(5歳)  |
| 13日 すずき ようたくん(3歳)   | 16日 かどわき そうたくん(5歳) |
| 20日 さとう ごうくん(3歳)    | 31日 さとう ゆあちゃん(5歳)  |
| 12日 おかざき ひなのちゃん(4歳) | 22日 さとう はるまくん(6歳)  |



ぼんひ組(0歳児)

- <わらい> ・外気に触れ、自然の美しさの中で遊ぶ  
・体調の変化に留意し、快適に過ごす
- <家庭連携> ・休日は散歩などへ行き、秋の自然に触れたい自然の中で遊ぶことの楽しさを知らせていきましょう。  
・朝夕の気温差があるので、調節しやすいよう衣服の準備をお願いします。  
また、体調の変化などを伝え合い連携をとりましょう。



ひよこ組(1歳児)

- <わらい> ・自然に興味を持って遊ぶ  
・天候や気温に留意し健康に過ごす
- <家庭連携> ・自然に目を向けさせたり、触れたいすることで自然に興味を持てるようにして下さい。  
・調節しやすい衣服を多めに用意して下さい。

こたけ組(2歳児)

- <わらい> ・自然の恵みに触れ、大切にしようとする  
・色や形、数に関心を持つ
- <家庭連携> ・家族で外で遊んだり、散歩に行くなど自然の中で大いに遊び、その中で自然のありがたさ、大切さを知らせていきましょう。  
・身近な所にある色や形、数を使ってクイズをしたり、遊んだりする中で興味を持てるようにしていきます。



こねこ組(3歳児)

- <わらい> ・身近な自然に触れ、美しさを共感し合う  
・友だちと関わって遊ぶ中で、少しずつ相手の気持ちを知る
- <家庭連携> ・散歩をしたり、秋の自然に触れる中で、木々が色付いていく様子に気付けるよう声を掛けたり、様々な虫や木の実を発見した喜びに共感しましょう。  
・家庭でもどんなことをされたら嬉しい気持ちになるか、嬉しい気持ちになるかを伝えましょう。

うさぎ組(4歳児)

- <わらい> ・自然の美しさに触れ、大切にしようとする  
・気温の変化や活動に応じて衣服の調節を行い、健康に過ごせるようになる
- <家庭連携> ・散歩や園外保育を通して、木の実を拾ったり食べ物がいっぱい季節であることを知らせ、自然の豊かさに気付けるようにしていきます。  
・気温が不安定なため上着を羽織ったり肌寒いし、朝と日中の気温差に対応できるよう働き掛けていきます。

ひつし組(5歳児)

- <わらい> ・様々な自然の恵みに触れ、大切にしようとする  
・暑さ、寒さを感じ、衣服の調節を進んで行う
- <家庭連携> ・自然に触れ合う機会を多く持ち、自然の恵みとは何かを考え、大切にしたい感謝する心を共に持ちましょう。  
・自ら気付いて衣服の調節ができるよう気温の変化に対応できる服を用意してあげましょう。

給食室

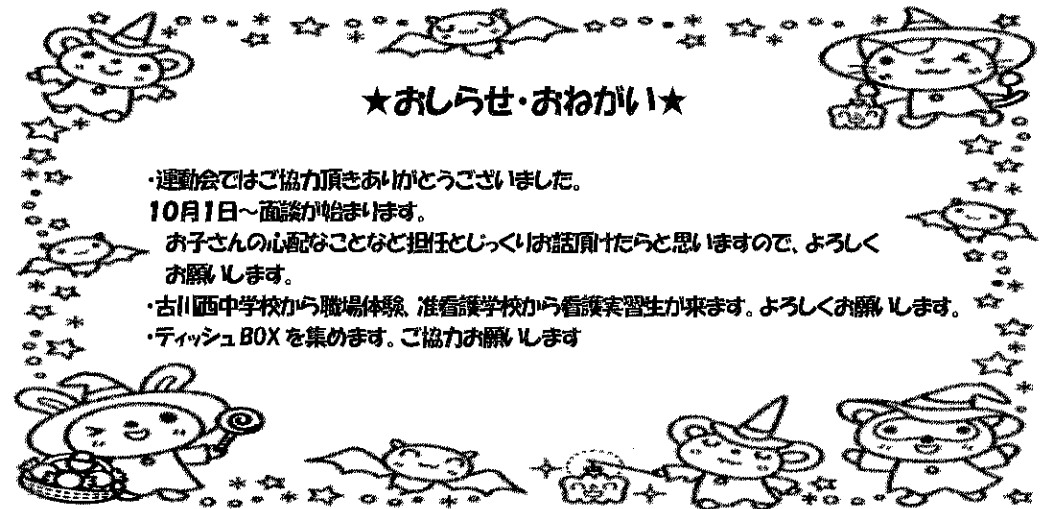
・陽が短くない厚着冷えこむ日が増えてきました。季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。好き嫌いせず何でも食べて体調を整えましょう。



「自然を大切にしようとする心が育つ」

先日、とても月がキレイでしたね。皆さんはご家庭でお月見をしてみましたか？中秋の名月、月をながめながら自然の恵みに感謝をする行事だと言われています。自然に触れる機会が少なくなっていますが、自然の恵みを身近に感じられるのは旬だと思っております。  
秋は旬が一番感じることでできる季節です。梨、栗、柿、いちじくなどその時しか食べることのできない食材です。梨をはじめ給食にだしたとき「今しか食べられないねー」と言うと、子どもたちは「何で？」「ヨーグに行けば買えるよ！」と言う答えがありました。だしかにスーパーに行けば季節関係なくありとあらゆる食材が陳列されていて、私たちが子どもの頃にくらべて旬を感じにくくなっているんだと思いました。  
実際実っている果物や畑で育つ野菜、こうべを垂れる稲穂... とういうものを目にする機会が減っています。旬を感じることでできる給食を作り、いんご狩りや芋煮会など自然を感じることでできる保育園行事を通して、子どもたちに自然を大切にしようとする心を育めたいと思います。

<栄養士 石川 真紀>



★おしらせ・おねがい★

・運動会ではご協力頂きありがとうございました。  
10月1日～面談が始まります。  
お子さんの心配なことなど担任とじっくりお話しできればと思いますので、よろしくお願ひします。  
・古川西中学校から職場体験、准看護学校から看護実習生が来ます。よろしくお願ひします。  
・ティッシュBOXを集めます。ご協力お願ひします



あなたの一分間拝借！

2015年10月1日

10月の心の目標は、「自然を大切に作る心の育成に励みましょう！」をテーマにしております。

秋の自然は、人の心を深め、洗濯してくれます。遠くから見る山肌の色めき、紅葉などは最たるもので、人々は安らぎを求めて山野に車を走らせるものです。そして私たちの身近にある森林にも、秋の神秘と自然美が共存していることにハットさせられことが多々あることに気付かされます。

その一つが「腐葉土」であり、私たちの心に様々な事を教えてくれます。

足下にかサカサと音を立てて落ちてくる枯葉、命を終えた無数の落ち葉が秋雨に濡れ、風に吹かれ、地に落ちて、散策する私たちに踏みつけられ、やがて粉々に壊れて土に還ります。これを腐葉土と言って植木や盆栽等に愛用され、お店でも購入することが出来ます。

ところが自然の中の木々は自然のあるがままの葉が土に還って親木の肥料となって新しいエネルギーとなり春の息吹を待つ親木の命を育てる肥料になっていることに、人間には利用することが出来ても作ることが出来ない自然の仕組みの神秘に感動せざるを得ない不思議があること、秋の落ち葉という代物は、決して無駄な、無益な物ではない、とても大切なものであることに目覚めてもおかしくないと信じているご仁です。

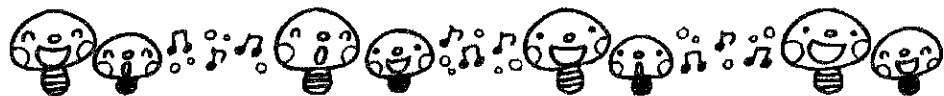
今年も、秋の山々の紅葉に癒されるのも、この腐葉土の力のお蔭であることに心の目を向け自然を大切にするように心掛けたいですね。たかが腐葉土・・・されど腐葉土なしに木々の命はいかんせん？・・・です。私たちの地球の緑を皆で守り抜きましょう。

聖書に「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば多く実を結ぶ。」(ヨハネ12の24)と書かれてある。

木々の葉は落ちて死ななければ、いつまで経っても土にはなれない。土にならなければ木々を育てる肥料にはならないのです。ここに自然の神秘と美しさが秘められていることに目覚めましょう。

インドの聖者といわれたマザー・テレサは、貧しい人々、世から見捨てられた孤独なお年寄りたちの「腐葉土」となって、あたたかい救いの手を差し伸べ、生涯をささげて永遠の命をえたことは聖書の教えを生きた人間のモデルといっても過言ではないでしょう。

私たちも、自然を愛し、自然の仕組みに秘められた神秘に心の目を向け、家庭や学校、職場や地域社会の腐葉土的存在となって人間性教育に力を注ぎながら10月の日々を過ごしましょう。



あなたは子ども達の腐葉土となっていますか？

それともただの「葉」に終わっていませんか？

土になり、肥料に変わり、子ども達の力になれば最高ですね。そこには神の祝福があるのみです。七転八起、自重自戒いたしましょう。

秋は、自然をとおして人間の心に反省と安らぎを与える時！

秋は、人間に忘れてはいけないことを思い出させる！

自然を大切に生きる人は、神の祝福を受けるに値する！

自然環境を破壊する人は、神から遠い人である！

神は自然をとおして、超自然というご自分の世界に、私たち人類を招いておられる！



イエスのみ言葉

わたしは、道であり、真理であり、命(いのち)である。

わたしを通らなければだれも父のもとに行くことができない。(ヨハネ14の6)

いまだかつて、神をみた者はいない。

父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。(ヨハネ1の18)

わたしと父とは一つである。(ヨハネ10の30)



カトリック古川教会  
司祭 川井 啓

